

欠席者連絡メモ

8月12日 金曜日 名前()

科目	国語
授業	p. 12. 13 p. 18 回 古文プリント② 資料問題①
宿題	p. 14. 15 漢字プリント 資料問題②
プリントの有無	5

※次回の授業は開始30分前に来て下さい。補習します。

英和ふればある

問五					
(1)					
大切である。					携帯機器を使う場合は、
70					
60					

夏

中三 国語

論述の資料読み取り問題②

英和ふればある

氏名

氏名

二人の知音、うち連れ立つて行く道で、熊といふ獣に行きやう

〔伊曾保物語いそほものがたりより〕

*虚死 Ⅱ 死んだふり。
*形儀 Ⅱ 習性。
*御辺 Ⅱ あなた。

＊教訓を為いた^{ミツ}！教え諭した。

＊向後^{ミツ}！今後。

★(2) 線①「そこを退いた」の主語にあたるものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 熊 イ 木に登った者 ウ 熊と闘った者
エ 木に登った者と熊と闘った者の二人

★(4) この文章は、ある教訓を導くために書かれたものである。その教訓の内容を現代語で三十字程度にまとめて書きなさい。

[illegible]

小説の読解

8/12 (金)

P.12
5
P.13

基本

- (6) (5) (4) (3) (2) (1)
ア エ イ A ウ 夕暮れ

獲物をしとめ

B イ

C 月

解答

○解説○

- (1) 場所は「家の裏手にある岩場」、時間帯は「夕暮れ」とあることに着目する。
 (2) 前の「静寂の続く中で、三人はぼんやりと月と星を眺めた」に着目し、しばらくの沈黙のあとに、老人がふとつぶやくように言う様子であることを押さえる。普通は「ぼつりと」であるが、老人らしい落ち着いた口調を「ぼつりと」と表したと考えられる。
 (3) aは、老人の仕事は猟師なので、猟師がすることを表した言葉をとらえる。bは、「わしを許してくれている」と感じる老人の気持ちを考えて選ぶ。cは、この老人の言葉が、前のサキ婆さんの「月はなんと言うとりますか」という問いに対する答えであることからわかる。
 (4) サキ婆さんの、月の話すことが聞こえるかという問いに対して、何も聞こえないことを示した態度であることを読み取る。サキ婆さんは英雄をからかっているのではないので、アは適当ではない。
 (5) 猟師の老人の言葉を引き出して聞いたり、英雄に話しかけたりする態度からは思いやりが感じられる。また、歌ったり踊ったりする様子から明るい性格であることがわかる。
 (6) 文章の終わりのほうで書かれている、英雄が何かを感じ取っている様子が主題に結びついている。イの「力強さや積極性を身に付け」とまでは書かれていない。ウの「不思議な体験」「自分の力の限界を知り」なども読み取れない。エは「自立していく様子」までは書かれていないので、適当ではない。

短歌・俳句の鑑賞

P.18

標準

- (2) 雪 エ

例 鶯が鳴くこと

二(句)

- (5) (4) (3) (2) (1)
例 道のほとりに清水が流れている柳陰で、ほんの少し休もうと立ち止まったのに、すずしさについ長居をしてしまった。

解答

○解説○

- (2) Cの和歌の解釈は「春が来たと人々は言うけれど、私は鶯が鳴かないうちはそんなはずがないと思う」となる。

1 こたえていうのは

ア

(3) 例 熊が倒れた者の耳のあたり(や口のあたり)をかいた光景。

(4) 例 大変なときに自分を見放すような者を友人にしている。 (28字)

現代語訳

二人の友人が、いっしょに歩いていく道で、熊という獣に出くわして、一人は木に登り、もう一人は熊と闘ったが、力が尽きたので地面に倒れ、死んだふりをしたところ、あの獣の習性で、死人には害を与えないものである。しかし、その獣は(地面に倒れた者の)生死を確かめようと思ったのか、耳のあたりや口のあたりのにおいをかいでみるけれども、死んだように動かなかつたので、(熊は)その場を去った。そのとき、木に登った者が下りてきて、その人に近づいて、「ところで、今あなたに、あの獣がささやいたのはどういうことか。」と尋ねたので、(倒れて死んだふりをした者が)答えて言うことには、「あの獣がわたしに教えた(おぼしめ)した、それは何かというと、『おまえ、今後は(今の)あなたのように大変な状態のときに(友人を)見放してしまふような者とは友情を結ぶな。』と。」

解説

(3) その生死を確かめようとして、熊は、倒れた者の耳や口のあたりに鼻を近づけてにおいをかいだ。その様子が、木に登った者には何かささやいているように見えたのである。

(4) この物語の教訓は、文章の最後に示された「大事に臨んで見放さうする者と知音すな」である。解答は、この点をおさえて三十字前後で書かれていればよい。

<解答と解説>

例 I:4 II:2

(イ) (私たちは、) 海が楽しい場所であるのと同時に危険な場所でもあるという認識をもち、海で過ごすマナーを守り、海事教育を受ける機会を積極的にもちことが (大切である。)(65字)

(ロ) 「Aさん」は、[]の3～1行前で、「ここまでは、海で安全に過ごすことの現状と課題について話してきましたが、私たちが考えなければならないことについては、Bさん、Cさん、Dさんがまとめてくれているように思います。それらをふまえ、海で安全に過ごすために大切なことを改めて整理すると」と話しています。また、条件から、「海で安全に過ごすために大切なこと」に注目していくと、「Bさん」は、「私たちが海で安全に過ごすためには、海が楽しい場所であると同時に、危険な場所でもあるという認識をもつことが重要であると言えるでしょう。」と話しており、「Cさん」は、「私たちは、海で過ごすマナーを守ること大切だと思います。」と話しており、「Dさん」は、「私たちは、海事教育を受ける機会を積極的にもちことが必要であると考えます。」と話していることから、これらの内容について、指定字数の範囲内でまとめます。

<正答例>

- ・(私たちは、) 海で過ごすときのマナーを守り、海事教育を受ける機会を積極的にもち、海は楽しいだけではなく危険な場所でもあるという認識をもつことが (大切である。)(64字)
 - ・(私たちは、) 海事教育を受ける機会を積極的にもち、海が楽しい場所であるのと同時に危険な場所でもあるという認識をして、マナーをきちんと守って過ごすことが (大切である。)(68字)
- ※誤字、脱字などがある場合は、その数にかかわらず2点減点となります。また、表現に問題があつて内容が解答の趣旨から少し外れているが、許容できると考えられる場合も2点減点となります。

大切である。		(イ)					私たちは、
		も	海	も	危	海	
		つ	事	ち	険	が	
		こ	教	、	な	楽	
		と	育	海	場	し	
		が	を	で	所	い	
			受	過	場	場	
			け	ご	所	所	
			る	す	あ	で	
			機	マ	る	あ	
			会	ナ	と	る	
			を	い	の	の	
			積	を	う	と	
			極	守	認	同	
			的	り	識	時	
			に	、	を	に	

高校受験 漢字テスト 読み取り-8

- 1 雨の水が大地を潤す。
- 2 工場の規模を拡大する。
- 3 社会の秩序を保つ。
- 4 将来の抱負を語る。
- 5 花の美しさに魅せられた。
- 6 彼の言動には矛盾がある。
- 7 彼が發起人だ。
- 8 自然の恵みを享受する。
- 9 商品を吟味して買う。
- 10 選手を派遣させる。
- 11 珍重されている品。
- 12 入試を前日に控えている。
- 13 柔らかな果実を採取する。

[illegible]

- 14 社会の発展に貢献する。
- 15 台風で漁船が遭難する。
- 16 へんな錯覚が起きる。
- 17 異国の地で拘束された。
- 18 いっさい妥協を許さない。
- 19 当事者意識が希薄だ。
- 20 自然との結びつきは緊密だ。
- 21 丁寧に描写している。
- 22 草木で覆われた塀。
- 23 開発で自然が壊されていく。
- 24 義務を怠ってしまった。
- 25 自分の信念を貫く。

[illegible]

高校受験 漢字テスト 書き取り-8

1 その理由をナツトクする。

2 交通ヒヨウシキを見落とす。

3 冷蔵庫セツビの点検。

4 ヒヨウジュン的な問題。

5 将来の自分をソウゾウする。

6 目標をタツセイした。

7 研究のタイショウ。

8 社会のコウゾウを変革する。

9 友だちをショウタイした。

10 タンジュンな作業。

11 人間のゲンカイを認める。

12 国のキョウカイ。

13 春のオトズレを告げる。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

14 ミチの世界を開拓する。

15 精巧なサイクをほどこす。

16 渡り鳥のムレが飛んでいく。

17 名句をキザんだ碑。

18 用事をスませる。

19 アンイな考え方。

20 試合に勝ってコウフンする。

21 海岸線がフクザツに入り組む。

22 教室いつもセイケツにする。

23 タボウな毎日だった。

24 無イシキの行動。

25 恩師をソンケイしている。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

高校受験 漢字テスト 読み取り-8

- 1 雨の水が大地を潤す。
- 2 工場の規模を拡大する。
- 3 社会の秩序を保つ。
- 4 将来の抱負を語る。
- 5 花の美しさに魅せられた。
- 6 彼の言動には矛盾がある。
- 7 彼が発起人だ。
- 8 自然の恵みを享受する。
- 9 商品を吟味して買う。
- 10 選手を派遣させる。
- 11 珍重されている品。
- 12 入試を前日に控えている。
- 13 柔らかい果実を採取する。

うるお	きぼ	ちつじよ	ほうふ	み	おじゅん	ほつきにん	きようじゅ	ぎんみ	はけん	ちんちよう	ひか	やわ
-----	----	------	-----	---	------	-------	-------	-----	-----	-------	----	----

- 14 社会の発展に貢献する。
- 15 台風で漁船が遭難する。
- 16 へんな錯覚が起きる。
- 17 異国の地で拘束された。
- 18 いっさい妥協を許さない。
- 19 当事者意識が希薄だ。
- 20 自然との結びつきは緊密だ。
- 21 丁寧に描写している。
- 22 草木で覆われた塀。
- 23 開発で自然が壊されていく。
- 24 義務を怠ってしまった。
- 25 自分の信念を貫く。

こうけん	そうなん	さっかく	こうそく	だきよう	きはく	きんみつ	ていねい	おお	こわ	おこた	つらぬ
------	------	------	------	------	-----	------	------	----	----	-----	-----

高校受験 漢字テスト 書き取り-8

- 1 その理由をナツトクする。
- 2 交通ヒヨウシキを見落とす。
- 3 冷蔵庫セツビの点検。
- 4 ヒヨウジュン的な問題。
- 5 将来の自分をソウゾウする。
- 6 目標をタツセイした。
- 7 研究のタイショウ。
- 8 社会のコウゾウを変革する。
- 9 友だちをショウタイした。
- 10 タンジュンな作業。
- 11 人間のゲンカイを認める。
- 12 国のキョウカイ。
- 13 春のオトズレを告げる。

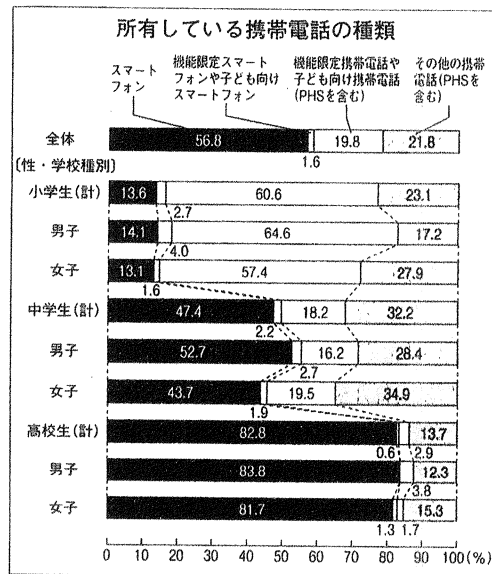
訪	境界	限界	単純	招待	構造	対象	達成	想像	標準	設備	標識	納得
---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

- 14 ミチの世界を開拓する。
- 15 精巧なサイクをほどこす。
- 16 渡り鳥のムれが飛んでいく。
- 17 名句をキザんだ碑。
- 18 用事をスませる。
- 19 アンイな考え方。
- 20 試合に勝ってコウフンする。
- 21 海岸線がフクザツに入り組む。
- 22 教室いつもセイケツにする。
- 23 タボウな毎日だった。
- 24 無イシキの行動。
- 25 恩師をソンケイしている。

尊敬	意識	多忙	清潔	複雑	興奮	安易	濟	刻	群	細工	未知
----	----	----	----	----	----	----	---	---	---	----	----

中学生のAさん、Bさん、Cさんの三人のグループは、「総合的な学習の時間」に青少年の携帯電話器との関わり方などについて調べ、話し合いをしている。次のグラフ1、グラフ2、グラフ3と文章は、そのときのものである。これらについてあとの問いに答えなさい。

グラフ1



(グラフ1)

内閣府「平成25年度 青少年のインターネット利用環境実態調査」から。

(グラフ2)

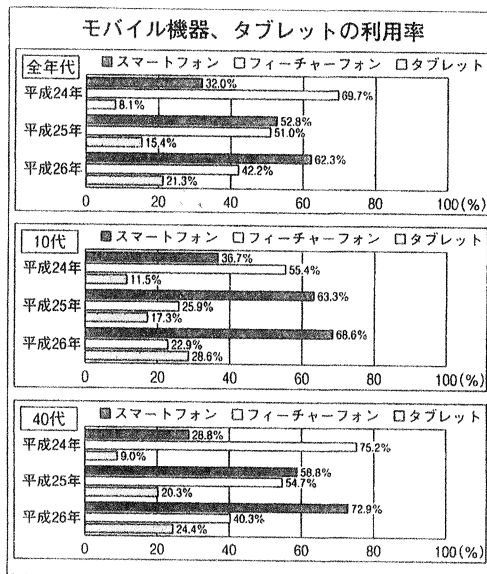
総務省「平成26年度 情報通信メディアの利用時間と情報行動に関する調査」から。

(グラフ3)

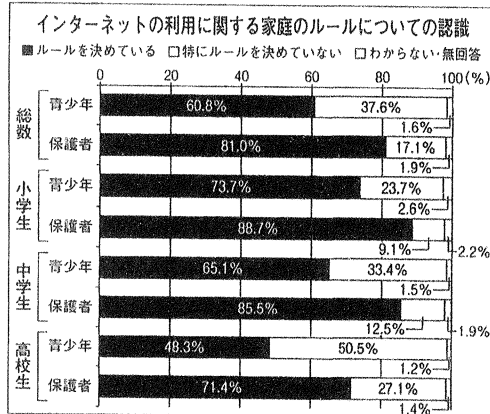
内閣府「平成27年度 青少年のインターネット利用環境実態調査」から。

※フィーチャーフォンは、通話機能にいくつかの機能が付与された従来型携帯端末のこと。

グラフ2



グラフ3



Aさん

今日は、青少年の携帯機器との関わり方について考えてみたいと思います。

Bさん

グラフ1は、携帯機器を所有している小・中・高校生を対象に、その機器の内訳を調べたものですが、これを見ると、**I** ということが分かります。

Cさん

さらに高校生では、スマートフォンの所有者が増えていますね。中学生、高校生の多くは、専用のスマートフォンを使ってインターネットやゲームなどを利用できる環境にあると考えられますね。私も、つい時間を忘れてゲームを楽しんでしまい、後悔することがあります。

Bさん

睡眠時間や学習時間に影響するほど使いすぎになってしまうとなると問題ですね。携帯機器を使う場合は、一日の使用時間を決め、節度のある使い方をすることが大切だと思います。

Cさん

グラフ2は、スマートフォン、フィーチャーフォン、タブレットの利用率を、すべての年代と10代、40代について示したものです。40代は、私たちの親の世代にあたりますね。これを見ると、**II** ことが分かります。また、平成二十五年以降は、10代でも40代でも、スマートフォンの利用率が半数を超えており、スマートフォンはかなり普及していると言えます。実際、私の両親

利用率が半数を超えており、スマートフォンはかなり普及していると言えます。実際、私の両親